

◎栽培日誌を提出していない場合は、至急、提出下さい。

次年度に向けて、健全な樹勢維持、ハダニ類・スリップス類の多発予防のため、収穫後の施肥、防除、かん水、除草等の管理作業を徹底しましょう。

1. 収穫後管理

(1) ビニールの除去

〔ハダニ類の発生が心配される場合〕

- ・早急に外し、降雨により発生抑制に努める。
- ・サイドのビニールも除去し通気性を良くする。

〔樹体衰弱が著しい場合〕

- ・収穫終了1ヶ月後、梅雨前頃に除去する。

(2) かん水の実施

- ・乾燥する場合：1週間に1度かん水を実施する。双子果対策。

(3) 除草剤

- ・バスタ液剤またはザクサ液剤（収穫前日、3回） 水100～150ℓに薬剤500mlを混用

(4) 礼肥 *全施肥量の50%に抑えられるように。また、樹勢及び本年の収穫量により調整する。

〔例〕10a 当り種粕1～2袋またはケイフン1～2袋、及びマイティ黒ぐろ1～2袋

2. 病虫害防除 (年間防除暦参照) 日中高温時の散布は避けましょう。

収穫終了後	水	100ℓ当り	
	展着剤	10ml	
	コロマイト乳剤	100ml	(7日前、1回)
	キンセツ水和剤80	100g	(収穫後～落葉期、3回)
	劇 スプラサイド水和剤	66g	(7日前、3回)
散布量	10a 当り SS 500ℓ・動噴 600ℓ		
対象病虫害	ハダニ類、せん孔病、カイガラムシ類、カメムシ類、ショウジョウバエ		
注意事項	キンセツ水和剤は、葉が軟弱傾向な場合や散布時間に注意する。(葉の薬害) 薬害が心配される場合は、 <u>クレフノン 100 倍を加用する</u>		

◎カイガラムシ類の発生園

アプロードフロアブル 1,000 倍（収穫7日前、2回）を加用する。

除覆 10 日後 (6月中旬)	水	100ℓ当り	
	展着剤	10ml	
	ダニコングフロアブル	50ml	(前日、1回)
	オキシラン水和剤	166g	(収穫後～落葉期、3回)
	劇 ダイアジノン水和剤34	100g	(14日前、2回)
散布量	10a 当り SS 500ℓ・動噴 600ℓ		
適用病虫害	ハダニ類、せん孔病、アメリカシロヒトリ、ハマキムシ類		
注意事項	<u>スリップス、ナミハダニを増やさないために除草を定期的実施する。</u>		